

「教室空間から教育を考える」

ー日本とデンマークの学校建築ー

平成29年1月24日(火)

文部科学省第二講堂

基調講演

1. 「デンマークの学校建築における計画の系譜と授業展開・空間の使い方」

東京電機大学情報環境学部 教授 伊藤 俊介 氏

2. 「Classroom design for 21st Century Learners - a Scandinavian perspective」

学習コンサルタント・Halsnaes Lilleskole校長

ピア・グレル・ソーレンセン 氏

学習空間デザインスタジオAutens CEO

レーネ・イエンスビュ・ランゲ 氏

3. 「アクティブな学習空間を目指して – 教室風景の昨日・今日・明日」

東洋大学 名誉教授 長澤 悟 氏

効果的な教室デザインとは？ デンマークの視点



ピア・グレル・ソーレンセン(校長) + レーネ・イェンスビュ・ランゲ(CEO)

子どもたちが育つ世界



- グローバル化
- 急激に変化する世界
- 成長途上のインターネット -> WWW、アプリ、ソーシャルメディアから、3Dプリント、物のインターネット、AIへ
- 様々な方法で成功できる
- コネクター – 与えるのではなく、つながる
- 世界的な危機
- 新たなチャンスと可能性

子どもたちが育つ世界

21世紀に必要な能力

聞く、観察する、分析する
批判的思考
好奇心、探求
協力、問題解決 – 加えて異文化理解
分野横断的な活動
創造力
コミュニケーション
IT活用
独創性、革新性、主体性
柔軟性
生活のバランス
共感性
学び方を学習する

要約すると
4つのC:

Creativity
(独創性)
Collaboration
(協力)
Critical thinking
(批判的思考)
Communication
(コミュニケーション)

20世紀型から21世紀型の教育へ

受け身
全員同じ方法
全く同じ内容を学ぶ
知識の消費者
再現・複製

様々な方法で主体的に活動する
個々の生徒に合わせる
グループの目的に合わせる
知識の作り手
作り出す



20世紀型から21世紀型の教育へ

時間毎に活動を決める
時間割が全員同じ
生徒のレベル

目標と内容に応じて活動を決める
時間割が違う
生徒の進歩

Skoleskema for 2. klasse					
	Mandag	Tirsdag	Onsdag	Torsdag	Fredag
8:00 - 8:45	Dansk	Matematik	Billed-kunst	Dansk	Dansk
8:50 - 9:35	Dansk	Dansk	Billed-kunst	Dansk	Dansk
9:45 - 10:30	Matematik	Matematik	Dansk	Natur/ Teknik	Religion
10:50 - 11:35	Musik	Idræt	Dansk	Matematik	Matematik
11:45 - 12:30		Idræt			



20世紀型から21世紀型の教育へ

科目別カリキュラム

理論重視の課題

実生活のテーマや問題等を重視
(多くは分野横断的となる)

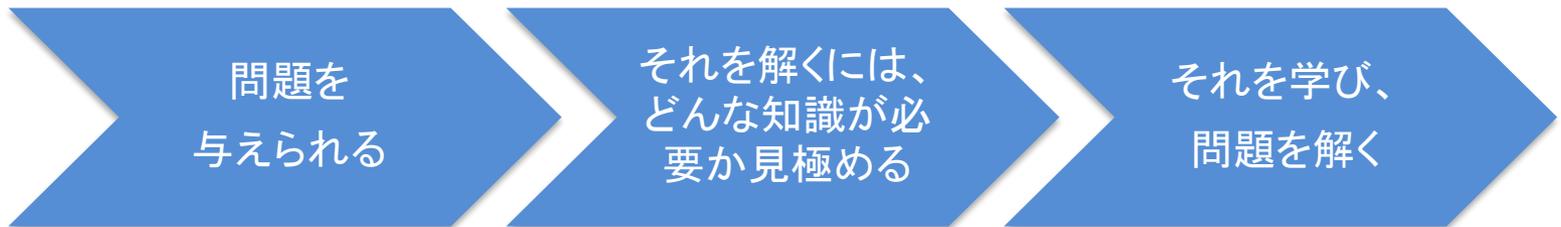
事実に基づく課題 & 実世界での活動



従来の指導



問題ベース、プロジェクトベースの学習



20世紀型から21世紀型の教育へ

教室という枠内でほぼ全てを学習

指導するためのデザイン

学校全体、地域、国際な連携により、
屋内外で学習

協力、集中、独創性、主体性を促す



20世紀型から21世紀型の教育へ

各科目担当の教師が
閉ざされた教室で教える
クラス別・科目別の指導
「私の担当生徒」

複数の教師がチームとして協力、
オープンに連携する
学習を促す
生徒に対し共同で責任を負う





ソーシャルラーニング +空間内に別の空間



全スペースが学習空間



トンネル、隙間、隠れ場所







教師にも快適な環境





屋外& 自然の中での学習



